

上関原子力発電所の建設実現に向け 今こそ心をひとつに！

◆ 責任ある政治を目指す安倍総理は、年内に「原子力発電の活用を明記」した新たなエネルギー政策を定めようとしています。これまでの議論では、改めて原子力を評価しつつ、一部の委員からは、今後の新增設を求める声もあがりはじめました。

(10/17日経より)

また今年7月には、原子力の規制基準が見直され、現在、全国で7つの発電所を対象とした安全審査が進められるなど、再稼働に向けた動きも着実に現れています。

このように、安全性を確実に高めたと、今後も原子力発電を活用し続けようとする最近の動きは、「もつやく、現実的で冷静な方向性へと変化して来た」と言えるのではなからうでしょうか。

◆ 一方、私たちの上関町では、おおよそ一年半にわたって「地域シシヨ」検討会が開催されました。検討会では、原子力計画について立場の異なるメンバーにより、まさに「膝を付き合わせた議論」が行われましたが、過疎高齢化がますます進む中、「今後、原子力発電所関連の財源や経済効果が見込めなければ、町が厳しい財政運営を強いられる」として改めて確認されたのです。

◆ 故郷・上関町をいつまでも大切に思い、次の世代へきちんと繋げたいという気持ちは、全ての町民が同じはずです。そのためにも、貴重な自然や文化を守りつつ、上関原子力発電所の建設を確かなものとし、交付金事業の「鳩子の湯」や、これから建設される「ふるさと市場」、「総合文化センター」を軸に、活力ある豊かなまちづくりを実現することで、誰もが安心して暮らし、生き生きと働き、笑顔でいっぱいの子育てができ、穏やかな老後を迎えるよう、私たちは、立場や意見の違いを乗り越え、今こそ心をひとつになろうと決意です。

「原発活用」明記へ

基本計画 基幹エネルギー置付け

安倍総理が年内に「原子力発電の活用を明記」した新たなエネルギー政策を定めようとしています。これまでの議論では、改めて原子力を評価しつつ、一部の委員からは、今後の新增設を求める声もあがりはじめました。

原発活用 課題検証

新設 建て替えなど

基本計画

項目	内容
1. 新設	新規に建設される発電所の数、容量、地域分布
2. 建て替え	老朽化した発電所の更新計画
3. 廃止	安全基準を満たさない発電所の廃止計画
4. 再稼働	安全審査を通過した発電所の再稼働計画

このように、安全性を確実に高めたと、今後も原子力発電を活用し続けようとする最近の動きは、「もつやく、現実的で冷静な方向性へと変化して来た」と言えるのではなからうでしょうか。

上関町まちづくり連絡協議会